

2021年5月31日

## R&amp;I格付アウトLOOK——大手銀行

## 1. 決算状況と事業環境

大手銀行の2020年度決算は堅調に推移した。コロナ禍による消費低迷でリテール部門はやや落ち込んだ一方、大企業を中心とした資金需要の取り込みや資本性ファイナンスの増加で法人部門は伸びた。さらに世界的な株高で好調な市場部門が利益を押し上げた。懸念していた信用コストはおおむね計画の範囲内に収まっている。各国政府の大規模な支援政策で与信先の倒産が極めて少なかったうえ、予防的に貸倒引当金を計上することで損失吸収力を高めていた効果が大きい。2020年度も貸倒引当金を積み増しており、損失発生への備えは一定程度進んでいると評価している。

金融システムの安定性は保たれており、世界経済が底抜けする可能性は低くなっている。経済活動は徐々に回復に向かい、中国や米国は前年の落ち込みの反動から急回復している。しかし、ワクチン普及のスピードや政府の支援政策の内容により経済回復のペースは国ごとにまだら模様で、先進国と新興国の格差は広がりそうだ。大手銀行の多くが2021年度は信用コストの減少を見込み増益を予想するが、本格的回復には時間を要するだろう。

## 2. 格付上の注目点

大手銀行は国内に比べ成長が期待できる海外事業を拡大してきた。航空機・不動産ファイナンス、ASEAN（東南アジア諸国連合）の地場企業・個人向け与信の質を注視している。金融システムの安定性に寄与した支援政策はいずれ縮小・終了を迎える。各国政府は経済回復のペースを見ながら支援政策を終了させ、企業や個人に自立的成長を促さなければならない。この難しい舵取りに失敗すれば、蓄積した負の影響が一気に顕在化する可能性がある。

株価や金利見通しの不透明感は高まっており、金融市場が調整局面を迎える懸念もある。日本の大手銀行は欧米各行に比べ資本が厚くストレス耐性はあるものの、リスク耐久力への影響を確認していく。

国内事業では構造改革の進捗に注目している。コロナという外的ショックは対面型ビジネスの在り方を見直す契機をもたらした。多くの銀行が経営戦略の柱にデジタルトランスフォーメーション（DX）戦略を据え、店舗運営や業務プロセスの改革を進めている。デジタル化を一気に加速させ、経費負担が重い国内リテール部門の収益構造を改善できるかが信用力を左右する重要な要素になるとみている。

## 3. 個別企業の動向と信用力の方向性

大手銀行の信用力は安定的に推移するとみている。三菱UFJフィナンシャル・グループ（証券コード：8306、発行体格付=A+）は多様化した事業ポートフォリオが貢献し安定している。持分法適用先の米Morgan Stanleyによる利益貢献は大きく、3大金融グループのなかで差別化要素になっている。三井住友フィナンシャルグループ（8316、A+）は強みを持つ航空機リースやリテール部門でコロナ影響を受けているが、復調の兆しが見えつつある。相対的に優位な収益力を維持できるか見守っていく。みずほフィナンシャルグループ（8411、A+）は活況な資本市場関連業務で追い風を受けており業績は堅調だ。2021年2月に発生したシステム障害で、順調に進捗してきた構造改革に遅れがでないか注視していく。

三井住友トラスト・ホールディングス（8309、A）は政策保有株式を原則保有しない方針を発表した。削減ペースを加速し、リスク耐久力を向上できるか注目している。りそなホールディングス（8308、A）はグローバルな金融資本市場の影響を受けにくいリスクプロフィールを持ち、信用力は安定している。

主任格付アナリスト：大内 祥子

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室（広報担当） TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <https://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<https://www.r-i.co.jp/docs/policy/site.html>をご覧ください。